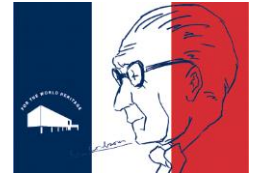


世界遺産登録推進NEWS



国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2014(平成26)年10月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



政府が国立西洋美術館の推薦書(暫定版)の提出を決定しました！

9月17日(水曜日)、外務省において世界遺産条約関係省庁連絡会議が開催され、「国立西洋美術館」を含むル・コルビュジエの建築作品17件について、本年9月末までに推薦書(暫定版)をユネスコ世界遺産センターへ提出することが決定されました。本件は、フランスの推薦枠を使い、ル・コルビュジエ建築作品のある7か国(日本、フランス、スイス、ベルギー、ドイツ、アルゼンチン、インド)共同で推薦するものです。

また17日の会議では、本件のほかに、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(長崎県、熊本県)の推薦書(暫定版)の提出が決定されました。

今後の予定(外務省HPより)

平成26年9月末まで	ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(暫定版)を提出
平成27年2月1日まで	世界遺産条約関係省庁連絡会議及び閣議了解を経て、ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(正式版)提出
平成27年9月頃	諮問機関(イコモス)による現地調査
平成28年4~5月頃	イコモスによる評価結果及び勧告の通知
平成28年6月頃	第40回世界遺産委員会で世界遺産一覧表記載の可否を審議



国立西洋美術館 外観

お知らせ

「世界遺産区民講座~ル・コルビュジエ建築の日本への影響~」を開催します！

国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向けた推進活動の一環として、建築家ル・コルビュジエの建築が日本にどのような影響を与えたかについて、わかりやすく解説する区民講座を開催いたします。

日時：平成26年11月1日(土曜日)午後1時30分~午後4時(講演および施設見学)

場所：国立西洋美術館講堂(台東区上野公園7-7)

対象：区内在住・在勤・在学(中学生以上)の方

定員：50名(抽選) **参加費**：無料

講師：米山 勇氏(建築史家・東京都江戸東京博物館研究員)

申込方法：インターネット(電子申請)または往復はがき

申込受付期間：■電子申請 平成26年10月5日(日曜日)午前9時から

平成26年10月21日(火曜日)午後5時まで

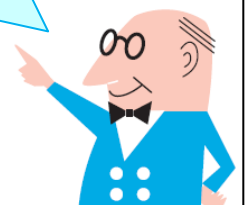
■往復はがき

同日

消印有効

コルビおじさん

たくさんのご応募
お待ちしております！



活動報告



世界遺産区民講座「親子の建築ワークショップ 着せ替えドミノ」を開催しました！

8月30日（土曜日）、台東区生涯学習センター301会議室にて、区民講座「親子の建築ワークショップ 着せ替えドミノ」を開催しました。

当日は、建築ユニットT*Oのタカマスヨシコ氏（米子工業高等専門学校准教授）、おくやめぐみ氏（一級建築士事務所主宰）を講師にお迎えし、国立西洋美術館の設計者であるル・コルビュジエの建築についてご説明頂いた後、彼の考案した「ドミノシステム」を元にした模型キットを用いて、「理想の美術館・博物館」を制作するワークショップを行いました。

受講された皆様はアイデアを形にするため、様々な工夫を凝らし真剣に取り組んでいました。「工作がとても楽しかった。家でもやってみたい」「建築がとてもおもしろく感じた」などの感想をいただきました。



ワークショップの様子

JR上野駅ギャラリー2階 Break ステーションギャラリーでパネル展「都内初の世界文化遺産へ～国立西洋美術館～」を開催しています！

今回のパネル展では、建築家ル・コルビュジエの建築のアイデアや日本に与えた影響、国立西洋美術館の建築上の見どころなどを紹介しています。

また、DVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」の放映、各種パンフレット等も設置しています。この機会にぜひお立ち寄りください！

- ◆開催期間 9月20日（土曜日）から10月30日（木曜日）まで
- ◆開催場所 JR上野駅ギャラリー2階 Break ステーションギャラリー
- ◆JR上野駅構内からの行き方
1階中央改札口前にあるハードロックカフェ横のエスカレーターで2階へお上がり下さい。



パネル展の様子

国立西洋美術館からのお知らせ

国立西洋美術館ホームページ⇒ <http://www.nmwa.go.jp/>

■「日本・スイス国交樹立150周年記念 フェルディナント・ホドラー」展が開催されます！

- * 開催期間：10月7日（火曜日）～2015年1月12日（月曜日・祝日）
- * フェルディナント・ホドラー（1853-1918）は、19世紀末から20世紀初頭のスイスを代表する画家です。大規模な室内装飾を数多く手がけ、身近なアルプスの風景を描きつづけた彼は、スイスではなお「国民画家」と呼ばれています。

本展では、ホドラーの画業を丹念に跡づけると同時に、絵画の「リズム」をテーマとしながら、その芸術をあらたに読み解きます。ベルン美術館をはじめとするスイスの主要美術館と個人が所蔵する油彩・素描など約100点によってホドラー芸術の全貌に迫る、日本ではおよそ40年ぶりとなる国内最大規模の回顧展です。

この機会にぜひご覧ください。

詳しくは、こちら ⇒ <http://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2014hodler.html>

